

科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
保育原理	小林佳美	1年次・前期	講義・2単位	卒業必修

授業の概要 / Course Outline
本講義では、保育の意義と目的、及び保育実践を支える基本的な理論と諸制度を学ぶ。そうした乳幼児期の保育に関する基本事項の理解を踏まえて、教育に関する代表的な理念・思想がどのような歴史的・社会的コンテキストによって生成されたのかをアクティブラーニングによって探究し、現代の保育にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。さらに、現代の教育課題が顕在化した社会・経済的背景と、課題解決に向けた取組を制度・政策と多様な実践の両面から学び、その解決にむけて保育者等はどのように貢献できるのか、自分の見解を論理的に説明できるようになることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育の意義及び目的について理解する。	A-①、B-②
・保育に関する法令及び制度を理解する。	A-②、B-②
・保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本を理解する。	A-②、B-②
・代表的な保育の思想と歴史的変遷を理解する。	A-①、B-②
・現代の保育を取り巻く社会課題とその対応施策を理解する。	A-①、B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	50%	講義内容の理解を問う。
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	50%	授業への取り組み(グループワーク、発表、リフレクションシート等)。

教科書 / Textbooks
伊藤潔志『哲学する保育原理〔第2版〕』教育情報出版, 2021年。

参考書 / Reference Books
小玉亮子(編著)『幼児教育』ミネルヴァ書房, 2020年。 汐見稔幸・無藤隆・大豆生田啓友(編著)『アクティベート保育学① 保育原理』ミネルヴァ書房, 2019年。 勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学—教育にどんな疑問がありますか？あなたにできることはなんだろうか』有斐閣ストゥディア, 2015。

予習・復習 / Preparation・Review
確認テストでは手書きノート、ワーク、リフレクションシートのみを閲覧可とします。従って、復習として、解説資料等をノートに整理することで理解を深めることを推奨する。

その他 / Others
新聞やテレビで報道される保育・子育てに関するニュースや、子どもが登場するドラマ、映画、絵本等に日頃から関心をもち、自分なりの意見をもちながら見ることを推奨する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	今、求められている保育・教育像
	イントロダクション Society5.0時代に求められる保育・教育とは。
02	乳幼児期の保育の特性①— 環境を通した総合的な保育
	遊びの中の認知・非認知の学びを理解する。
03	乳幼児期の保育の特性②— 五領域で見る遊びのなかの学び
	わらべうた遊び・ブンブンごまづくりを通して遊びを通した総合的な保育、保育内容5領域の概念を理解する。
04	乳幼児期の保育の特性③— ねらい・内容にみる乳幼児期の教育の独自性
	5歳児の遊びの動画視聴を通して「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」の基本概念を理解する。 小学校との接続の必要性にふれ、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを知る。
05	保育制度の基本①—多様な教育・保育施設と関係諸法令
	自分の通っていた園の1日から多様な保育施設があること、及び関連する諸制度を理解する。 フォーマル・ノンフォーマル教育と教育制度、教育を受ける権利保障の政策動向にふれる。
06	保育制度の基本②—多様化・普遍化に対応するための教育行政の変遷
	幼保一体化の変遷と認定こども園の誕生における社会的コンテクストを理解する。 保育者の資格・免許の種類、及び保育施設で働くうえで求められる多様な専門職間の協働の必要性を理解する。
07	保育の計画・評価と教職員間の協働性
	カリキュラム・マネジメント(PDCA)とチームワーク・同僚性の必要性を考える。
08	保育の思想と歴史①—子どもの〈誕生〉
	名画で学ぶ子ども観と家族観の変遷を考える。 コホート別意識調査や法令に見る〈子ども時代〉の可変性を理解する。
09	保育の思想と歴史②—幼児のための教育施設の誕生
	ルソー、ピスタロッチ、オウエン、フレーベル、モンテッソーリの教育哲学、現在の教育・保育に何をもたらしたのか？
10	保育の思想と歴史③—幼児のための教育施設の誕生
	ルソー、ピスタロッチ、オウエン、フレーベル、モンテッソーリの教育哲学、現在の教育・保育に何をもたらしたのか？
11	保育の思想と歴史④—日本における乳幼児期の教育のルーツと大正期の教育運動
	近代教育思想の人物関連マップの作成を通して新教育運動への展開、日本への影響を理解する。 倉橋惣三と城戸幡太郎の思想、及び児童文化運動の思想・実践を知る。
12	現代日本における保育と子ども家庭福祉の関連①—幼児教育の市場化とペアレントクラシー
	映画で探る高度経済成長期前期と平成・令和の子育ち・子育て環境の違い。 〈お客様〉としての子どもの誕生と子育ての孤立化から、子育ての社会化への政策動向と社会的背景を理解する。
13	現代日本における保育と子ども家庭福祉の関連②—子どもの貧困問題と家庭教育支援の意義
	「貧困」のモノサシとは？ 貧困の連鎖による結果の不平等が起きる仕組みを理解する。 動画視聴を通して、保育施設・社会教育支援団体の活動とその意義を考える。
14	諸外国の乳幼児教育の枠組みと動向①—多様性の保障と就学準備型施策
	米国の幼児教育番組の視聴を通して、「ヘッドスタート・プログラム」とベリー・プリスクール計画の概要と目的にふれ、乳幼児教育の大枠としてのレディネス型・ソーシャル・ペダゴジー型施策を理解する。
15	諸外国の乳幼児教育の枠組みと動向②—多様性とインクルージョン 〈理解度確認テスト〉
	絵本・おもちゃから探る保育環境におけるジェンダー・ニュートラルティの現状と多文化共生保育の世界的動向を把握する。